

JBL Sound Market Lab | CCB2026

Can Echoes Become Resonance?
反響は、共鳴を生むのか。

千葉開府900年。千葉地方卸売市場の巨大空間を舞台に、
JBL PartyBoxとプロ音響でつくる回遊型サウンド
マーケットの実証実験。

11/28(土)・29日(日)※予定

昼と夜、静と動を明確に分ける 緻密なゾーニング計画

3. エネルギー体感エリア(仮設)

水上屋台とエリアの協働、エネルギー体感の場にびくんとする観覧客で、ドリジネリを体験する。

2. ポストサイバーパンク・ラウンジ

※ポストサイバーパンク・ラウンジにいた遊を体験が楽し、アストロサイバリーな空間を演出する。

1. 水上屋台エリア(常設)

水上屋台エリア、棚卸場を機能でによる、商業環境を提供する。



CCB2026: 都市を再編集する 社会実験 (PoC)

CCB2026：都市を再編集する社会実験 (PoC) は、都市CT+アニシステム&集落、社会意識を改変実施させます。



Local Hub

住民の集まりが生活し、それなど市に技術を集め、垣根で芸術を創ります。



Tech & Art

転換していた技術がランターテイションに転換、募集性を発生します。



Urban UI

出張道内のアジア街内を施設し、テイクアウトでも市販的な店舗率を実現します。



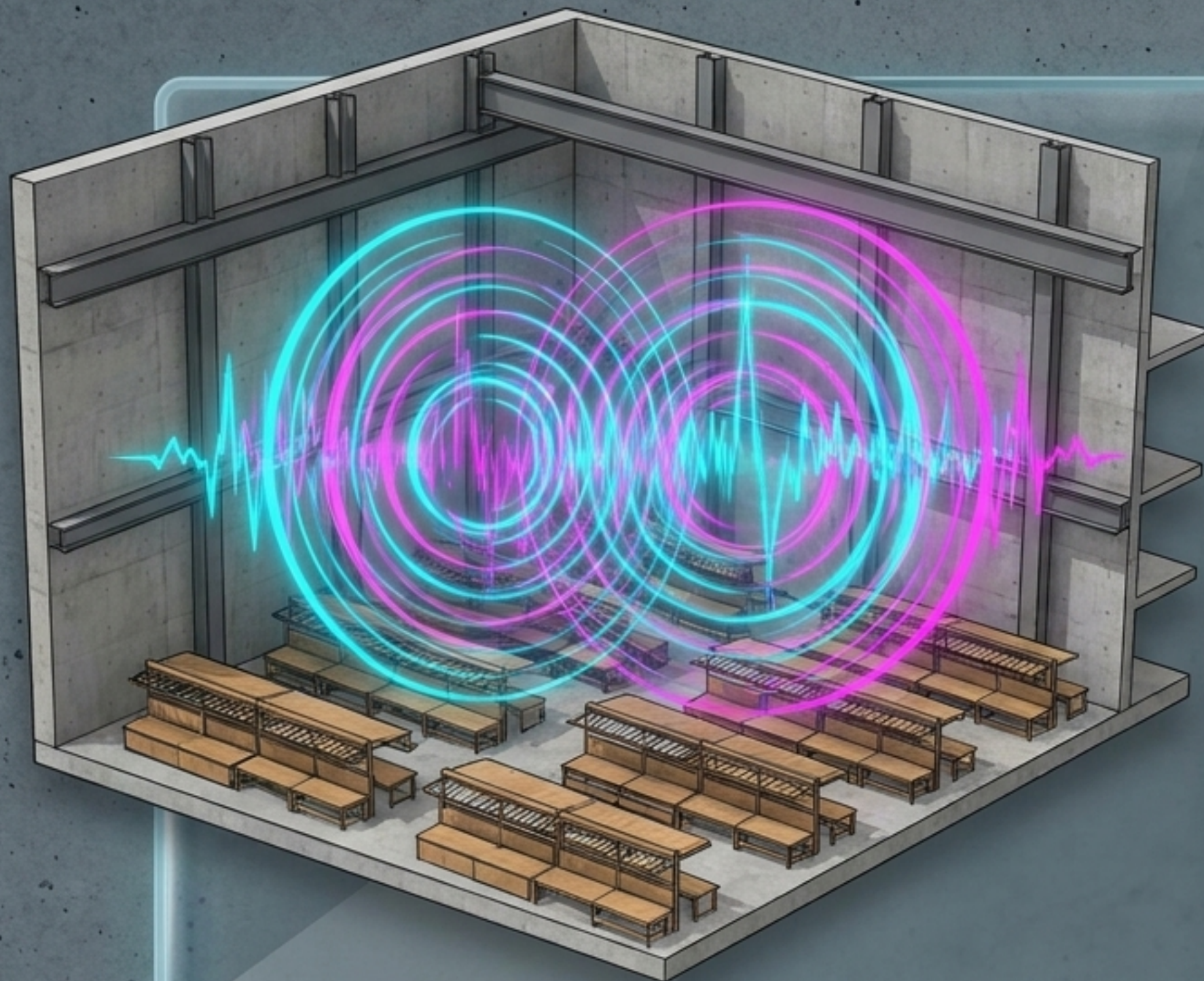
地元住民が集う出張道の駅・
アジアナイトマーケット。

Why JBL? — 「街のパーティー」への拡張

JBLは、音楽、ライブの熱狂、
そしてポータブルパーティー文化を象徴するブランドです。

CCB2026が目指すのは、巨大なハコを単一の音で満たすことではありません。
人が歩き、立ち止まり、会話し、踊り、映像を見て、食事をし、
また別の音へと移動していく有機的な体験です。

固定されたステージ音響だけでは作れない、「参加者のすぐそばで鳴る音」。
JBL PartyBoxシリーズこそが、音楽の文脈を「個人の空間」から「都市空間」へ
へと拡張するパートナーシップのご提案です。



市場空間の音響的課題： 反響 (Echoes) の壁

66

「市場の巨大な空間をきれいに鳴らすのは相当難しい」—— 音響職人 天羽氏

99

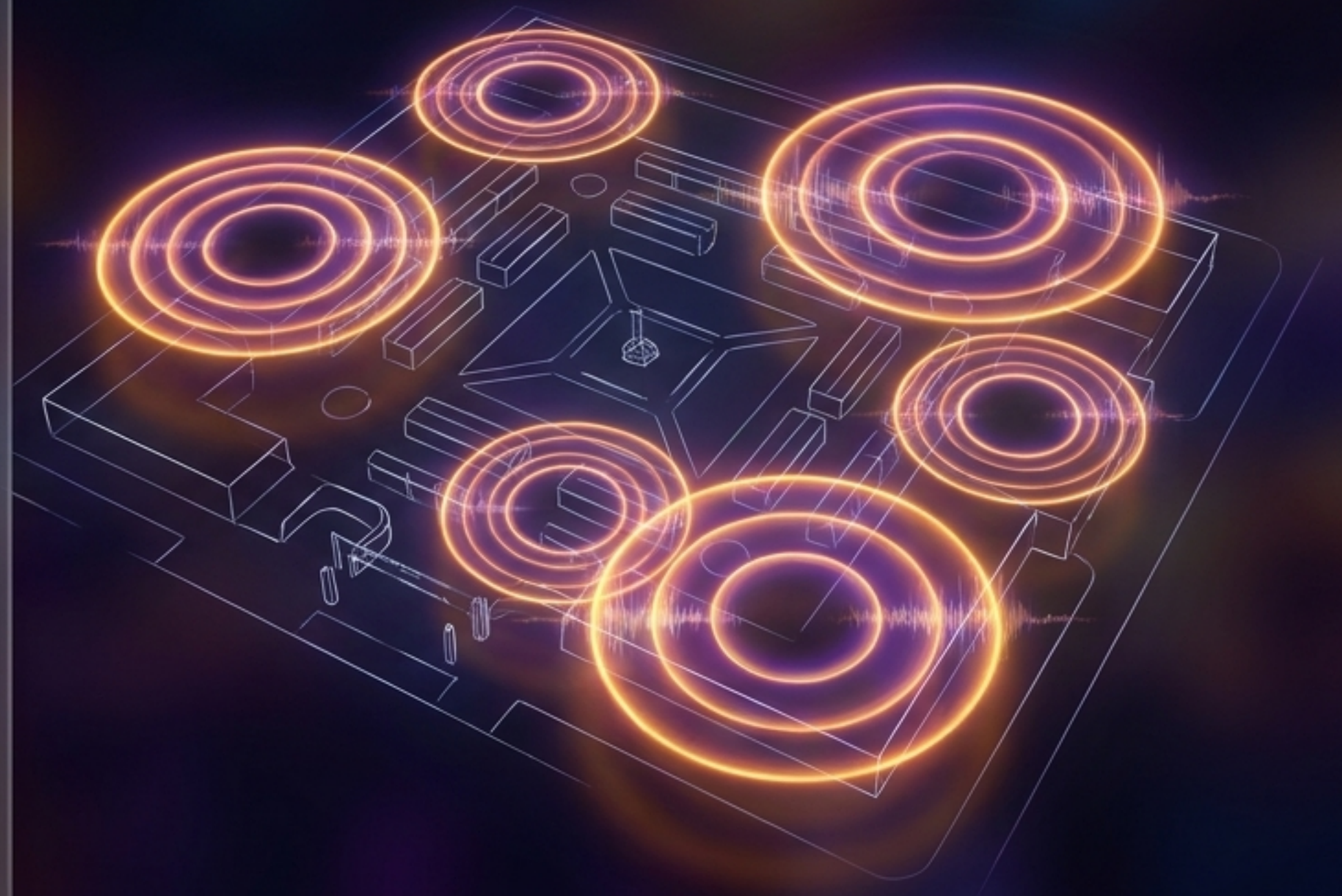
地方卸売市場はコンクリートと鉄で囲まれた巨大な空洞です。単一の強力なPAシステムで空間全体を支配しようとする、音は乱反射し、制御不能な「反響 (Echoes)」の塊となります。

従来の中央集権的な音響設計はここでは機能しません。空間を均一に鳴らそうとするアプローチ自体を捨てる必要がありました。

提案企画：JBL Sound Market Lab (分散音響ネットワーク)

音を「放つ」のではなく、「散りばめる」。
JBL PartyBoxを空間内に無数に点在させ、
市場のなかに独立した「音の島」を創り出します。

- **Walking Dynamic:**
来場者が歩くにつれ、DJのビートが近づき、
夜市の喧騒と混ざり、ランタンの灯りと連動する。
- **Ecosystem:** メインフロアの熱気を延長する音、
VR・配信エリアとリンクする音、休憩エリアの
心地よいBGM。
- **Resonance:** 反響 (Echoes) を押し殺すのではなく、
人々の移動と分散配置によって、空間全体の
一体感＝「共鳴 (Resonance)」へと昇華させます。



The Joint Experiment : 技術検証ポイント

これは単なる機材導入ではなく、巨大空間におけるポータブル音響の未踏の実証実験です。
Harman/JBLの皆様と、以下のポイントを検証したいと考えています。



Auracast / Multi-Connection

数十台～最大100台規模のネットワーク接続のポテンシャルと安定性。



Latency & Sync

巨大空間・広範囲配置における音の同期と遅延のコントロール。



Interference & Safety

人混みでの電波干渉、および完全ケーブルレスによる安全な動線確保。



Power Logistics

バッテリー運用時間、充電サイクル、および現場での交換ロジスティクス。

音響のハイブリッド設計 (Hybrid Acoustic Matrix)

空間全体を破綻させないため、プロ音響とJBLポータブル音響が共存する二層構造を構築します。

Main Floor (Pro Audio)

Location: 水産棟3F ラウンジ

Role: 没入型のライブ・映像演出の中心地。

Characteristics: 音響職人による緻密な設計、重厚な低音、中央集権的で圧倒的な没入感。

Wandering Area (JBL PartyBox)

Location: 水産棟1F 夜市・場内通路・回遊路

Role: 歩行体験に寄り添い、空間をつなぐ分散型サウンド。

Characteristics: 参加者のすぐそばにある親密な音、局所的な音量コントロール、風景（光・食）とのシームレスな融合。

JBLが参加するメリット (Mutual Value)

Brand Experience (SNS & Visuals)



サイバーパンクxアジアン夜市という圧倒的な非日常空間。来場者やクリエイターによるSNSでの自然な拡散（TikTok, Instagram）を生み出す、強烈なビジュアルコンテキスト。

R&D & Showcase (New Use Cases)



「ストリートや巨大野外空間でのマルチスピーカー同期」という、PartyBoxシリーズの新たなユースケース（家の外、街のパーティ）の実証ショーケース。

Audience Bridge (Demographic Reach)



プロフェッショナルな音楽現場と、若者・ファミリー層（コンシューマー）を繋ぐ架け橋として、JBLブランドの包摂性をアピール。

安全で開かれた「音のゾーニング」

Concept

CCB2026は、最先端の音楽イベントでありながら、子どもや地域住民が安心して参加できる環境を絶対条件としています。

The JBL Advantage

分散配置されたJBL PartyBoxは、空間全体を大音量で暴力的に支配することはありません。

Outcome

「子ども連れが休むエリアは優しく心地よいBGM」
「若者が集うエリアは力強いビート」といった形で、局所的な音量・雰囲気のコントロールが可能に。
音で人を排除するのではなく、音で安全な居場所をデザインします。

Next Step — 意見交換のお願い

CCCB2026

- ・ JBL PartyBoxシリーズの実証機材としての提供・貸出の可能性
- ・ 巨大空間での複数台接続に関する、技術的見地からのアドバイス
- ・ JBL製品体験ブース等、ブランドとしての連携の可能性

反響を、共鳴に変える。新しい街のサウンドトラックを、共に創りませんか。